

第 58 期  
年 次 報 告 書

(平成29年 4 月 1 日から)  
(平成30年 3 月 31 日まで)

fligan

---

愛眼株式会社

証券コード 9854

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成30年3月31日をもって第58期事業年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国の政策動向、朝鮮半島情勢の緊迫化など先行きが不透明な状況が続くなか、企業収益や雇用・所得環境が改善し、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。個人消費につきましても、緩やかに回復してきており、消費者マインドも改善傾向にあるものの、可処分所得の伸び悩みや社会保険料の負担増などに加え、消費者物価が前年比プラスに転じたことが実質購買力に対する下押し圧力として作用し、消費者の生活防衛意識や節約志向が依然根強く続いております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様からの支持・信頼の獲得に焦点を当てた諸施策による事業収益の拡大と経費コントロールなどによる経営効率の向上を進めることで、成長軌道のスタート点である黒字化に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における経営成績は、主に眼鏡小売事業の既存店売上が順調に推移したことにより、売上高は16,344百万円（前期比2.4%増）となり、売上総利益率は0.3ポイント改善しました。一方、人件費が増加したものの、広告宣伝費の効率的な運用など経費コントロールの徹底に努めたことにより、販売費及び一般管理費は11,092百万円（前期比0.3%増）となり、営業利益は239百万円（前期は営業損失51百万円）、経常利益は317百万円（前期は経常利益11百万円）となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益40百万円、特別損失として減損損失59百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は181百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失390百万円）となりました。

当社グループにおける事業セグメントごとの状況は次のとおりです。

### 【眼鏡小売事業】

当社グループの中核事業である国内眼鏡小売事業につきましては、お客様の趣味やファッション、ライフスタイルに合った最適な素材・機能をもつ商品を的確にアドバイスする「アイスタイリング・サービス」を主軸にした愛眼ブランドの強化に取り組み、お客様に高い専門性と満足感を実感していただける店舗運営を目指してまいりました。また、各種広告媒体の活用やイベント企画など様々な情報発信手法を駆使した販売促進策によって、集客の拡大に努めてまいりました。

商品につきましては、「目の健康」をテーマとした快適で機能的なレンズやフレームなどの高付加価値商品を増強し、また、価格志向、品質・性能・デザイン性重視など幅広い年齢層のお客様の多様なニーズに即した商品の開発に注力することで、品質・価格の両面で競争力のある品揃えの拡大に取り組んでまいりました。

売上高につきましては、既存店の客数は前期比で若干増加し、商品の品揃えの拡充により販売単価が改善した結果、増収となりました。品種別では、サングラスは夏場の天候不順の影響もあり、前期比では僅かながら減少しました。一方、補聴器は販売促進を強化したことに加え、店舗におけるレンタルサービスとアフターケアが好評を得て、順調に推移しました。

店舗につきましては、5店舗を新たに新店、不採算店を中心に9店舗を閉店したほか、計画的な既存店の活性化を進め、13店舗で改装を実施しました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は15,546百万円（前期比3.1%増）、セグメント利益は330百万円（前期はセグメント利益20百万円）となりました。

#### 【眼鏡卸売事業】

眼鏡卸売事業につきましては、得意先小売店に対する販売支援とともに、新規取引先の開拓に取り組みましたが、売上高は479百万円（前期比7.6%減）となり、セグメント利益は1百万円（前期比61.3%減）となりました。

#### 【写真館事業】

写真館（名称：愛写館）3店舗を営む写真館事業につきましては、第1四半期に横浜本店を改装するとともに、撮影バリエーションの充実や外販活動の強化などの売上向上策に取り組みましたが、競争の激化により厳しい状況が続いております。

この結果、写真館事業における売上高は162百万円（前期比10.1%減）、セグメント損失は39百万円（前期はセグメント損失2百万円）となりました。

#### 【海外眼鏡販売事業】

海外眼鏡販売事業につきましては、経営環境が引き続き厳しい状況にあるなか、既存店の活性化や商品ラインナップの拡充等に取り組み、採算の改善に努めましたが、店舗数の減少に伴い売上高は157百万円（前期比10.6%減）、セグメント損失は13百万円（前期はセグメント損失13百万円）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご厚情を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成30年6月

代表取締役社長 下 條 三千夫

## 企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第55期 (平成27年3月期)	第56期 (平成28年3月期)	第57期 (平成29年3月期)	第58期 (当連結会計年度) (平成30年3月期)
売 上 高(百万円)	15,988	16,563	15,957	16,344
経常利益又は 経常損失(△) (百万円)	△341	210	11	317
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (百万円)	△1,237	43	△390	181
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) (円)	△63.76	2.24	△20.11	9.34
総 資 産(百万円)	17,429	17,334	16,773	16,849
純 資 産(百万円)	14,436	14,438	13,991	14,171
1株当たり純資産額(円)	743.78	743.90	720.88	730.18

## 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 60,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 21,076,154株  
 (自己株式1,667,675株を含む)  
 (3) 株 主 数 20,740名  
 (4) 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
有 限 会 社 佐 々 興 産	2,138 千株	11.02 %
愛 眼 共 栄 会	845	4.36
愛 眼 従 業 員 持 株 会	765	3.94
株 式 会 社 瑞	635	3.27
佐 々 栄 治	634	3.27
佐 々 千 恵 子	442	2.28
佐 々 善 二 郎	399	2.06
野村信託銀行株式会社 (投信口)	345	1.78
下 條 三 千 夫	315	1.63
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口5)	300	1.55

(注) 持株比率は、自己株式(1,667,675株)を控除して計算しております。

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (H29. 3. 31現在)	当期 (H30. 3. 31現在)	科目	前期 (H29. 3. 31現在)	当期 (H30. 3. 31現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>8,163</b>	<b>8,636</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,979</b>	<b>1,999</b>
現金及び預金	4,901	5,014	支払手形及び買掛金	547	540
受取手形及び売掛金	753	937	1年内返済予定 の長期借入金	225	—
有価証券	—	300	未払法人税等	185	186
商品及び製品	2,251	2,177	賞与引当金	—	120
原材料及び貯蔵品	29	36	その他	1,020	1,152
その他	231	173	<b>固定負債</b>	<b>802</b>	<b>678</b>
貸倒引当金	△3	△3	繰延税金負債	49	49
<b>固定資産</b>	<b>8,609</b>	<b>8,213</b>	再評価に係る 繰延税金負債	6	6
<b>有形固定資産</b>	<b>3,028</b>	<b>3,076</b>	資産除去債務	338	336
建物及び構築物	1,026	1,022	リース債務	240	124
土地	1,887	1,887	その他	167	160
リース資産	34	17	<b>負債合計</b>	<b>2,781</b>	<b>2,677</b>
その他	79	149	<b>純資産の部</b>		
<b>無形固定資産</b>	<b>69</b>	<b>49</b>	<b>株主資本</b>	<b>16,316</b>	<b>16,497</b>
リース資産	54	38	資本金	5,478	5,478
その他	14	10	資本剰余金	6,962	6,962
<b>投資その他の資産</b>	<b>5,511</b>	<b>5,087</b>	利益剰余金	4,926	5,108
投資有価証券	1,393	1,050	自己株式	△1,050	△1,050
敷金及び保証金	3,468	3,400	その他の包括利益累計額	△2,325	△2,325
その他	649	636	その他有価証券評価差額金	116	113
<b>資産合計</b>	<b>16,773</b>	<b>16,849</b>	土地再評価差額金	△2,471	△2,471
			為替換算調整勘定	29	31
			<b>純資産合計</b>	<b>13,991</b>	<b>14,171</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>16,773</b>	<b>16,849</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (H28. 4. 1～H29. 3. 31)	当 期 (H29. 4. 1～H30. 3. 31)
売上高	15,957	16,344
売上原価	4,954	5,012
売上総利益	11,003	11,332
販売費及び一般管理費	11,054	11,092
営業利益又は営業損失(△)	△51	239
営業外収益	141	135
営業外費用	78	57
経常利益	11	317
特別利益	0	40
特別損失	304	59
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△293	297
法人税、住民税及び事業税	96	114
法人税等調整額	1	1
法人税等合計	97	116
当期純利益又は当期純損失(△)	△390	181
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△390	181

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (H28. 4. 1～H29. 3. 31)	当 期 (H29. 4. 1～H30. 3. 31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	228	593
投資活動によるキャッシュ・フロー	161	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219	△346
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	168	105
現金及び現金同等物の期首残高	1,975	2,144
現金及び現金同等物の期末残高	2,144	2,249

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社の概況 (平成30年3月31日現在)

商号	愛眼株式会社
本社設立	大阪市天王寺区大道四丁目9番12号 昭和36年1月11日
資本金	5,478百万円
主要な事業内容	当社グループは、眼鏡・サングラスその他関連商品を取り扱う眼鏡専門店チェーンと写真館を展開しております。
従業員数	744名 (ほか平均臨時従業員数416名)
店舗数	眼鏡店 236店舗 写真館 3店舗
連結子会社	2社

## 役員 (平成30年6月28日現在)

取締役会長	佐々栄治
代表取締役社長	下條三千夫
取締役	菅野忠司
取締役	下條謙二
取締役	佐々昌俊
取締役	森重洋一
常勤監査役	叶雅文
監査役	吉岡一彦
監査役	山田吉隆

- (注) 1. 森重洋一氏は、社外取締役であります。  
2. 吉岡一彦及び山田吉隆の両氏は、社外監査役であります。

## 株主優待

3月31日及び9月30日現在、当社の株式を次のとおりご所有の株主様に対し、株主優待割引券を贈呈します。

[メガネ]	・100株以上500株未満ご所有	30%割引券1枚
	・500株以上ご所有	30%割引券2枚
(但し、特別限定品は20%割引)		
[補聴器]	・100株以上ご所有	10%割引券1枚
(但し、特別限定品は除く)		

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	(1) 定時株主総会・期末配当 3月31日 (2) 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告の方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
上場証券取引所	東京 市場第一部

### <ご注意>

#### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

#### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.aigan.co.jp>